

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		狂犬病予防事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	市民部
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	環境衛生課
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	環境衛生班
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10118
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)
				法令根拠	狂犬病予防法 合志市犬による危害防止条例	
						成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	昭和25年に「狂犬病予防法」が施行され、飼い犬への予防注射が飼い主の義務とされたことから開始した。狂犬病予防のため、年1回の狂犬病予防注射と一生に1回の飼い犬登録・変更申請受付、鑑札交付、狂犬病予防注射済票交付事務、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護等を行っている。人口増に伴い対象(犬)も増加傾向にある。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	登録・変更申請受付、予防注射通知、集合注射時の受付、済票交付、台帳作成(電算システム入力・出力)、捕獲檻設置・撤去、野犬捕獲、迷い犬の受付・保護
【主な予算費目】	職員手当等、需用費、役務費
【意見や要望】	市民から野犬捕獲、迷い犬保護等の通報や糞、放し飼い、咬傷事件等の苦情がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、済票交付事務を行った。野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護をした。予防注射実績 2,937頭 新規登録件数 261頭	狂犬病予防注射通知事務、集合注射時の受付事務、済票交付事務を行う野犬捕獲、捕獲檻設置・撤去、迷い犬の受付・保護
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 予防注射済票交付数	時間外勤務手当及び啓発看板購入に要する消耗品費の増
イ 集団予防注射の実施時間数	時間
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
犬	ア 登録数
	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
狂犬病発生の予防	ア 狂犬病予防注射頭数/登録数
	イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
犬の登録及び狂犬病予防注射は狂犬病予防法に基づいて行われており、狂犬病の発生及び蔓延を防止することが重要であり、成果指標を「狂犬病予防注射頭数/登録数」の割合とし、前年度の6%増しの「76%」を目標値に設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	頭	3,118	2,985	3,360	2,937	2,930	2,960	3,000
	イ	時間	80	34	40	32	40	40	40
② 対象指標	ア	頭	4,712	4,511	4,800	3,845	3,850	3,850	3,850
	イ								
③ 成果指標	ア	%	66	66	70	76	76	77	78
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			546	529	624	624
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	488	457					
人件費	(A) 事業費計	千円	488	457	546	529	624	624	624
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	52	61	97	97	97
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	28	37	73	73	73
	(B) 人件費計	千円	14,560	6,188	7,164	2,974	7,416	7,416	7,416
トータルコスト(A)+(B)		千円	15,048	6,645	7,710	3,503	8,040	8,040	8,040

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	狂犬病予防事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 定期的な周知や狂犬病予防注射未実施者については戸別訪問を実施する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 狂犬病の恐ろしさを更に市民に警告することで予防注射の全頭実施に向け努力中。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 鑑札・済票は必要。集団予防接種時の通知も必要。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 野犬捕獲・予防注射時の職員は、委託可能であれば正職員以外でも可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 狂犬病予防、畜犬関係から全市民に関係し公平である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律に基づき市が行う事業だが、狂犬病予防注射の実施等に関しては獣医師会の協力が不可欠である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は、新規登録数261頭、予防注射2,937頭(予防接種率76.4%)だった。狂犬病の恐ろしさを更に市民に警告することで予防注射の全頭実施に向け努力中。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <b>狂犬病予防法に基づき、未登録、未注射の把握に努め、また、放飼いの禁止や散歩時の糞の始末等周知を図っていく。</b>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 <b>広報紙やホームページ等で、畜犬の正しい飼い方、マナーの周知について掲載し、飼主の意識の高揚を図る</b>																						